

# アクティブスピーカー システム

## 取扱説明書 SRS-D5

お買い上げいただきありがとうございます。  
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2010 Sony Corporation  
Printed in China



\* 4 1 9 8 9 5 8 0 2 \* (1)

### 正しくお使いいただくために

#### 安全上のご注意

##### 安全について :

付属の AC パワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント (AC100 ~ 240 V) につないでお使いください。

##### AC パワーアダプターについて :

AC パワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ず AC パワーアダプターを持って抜いてください。

##### 留守にするときは :

本機の (電源) ボタンを OFF にしただけでは、電源は完全に切れていません。ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

##### 異物について :

特に、端子には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

##### 異常や不具合が起きたら :

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐに AC パワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

##### 取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調節してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所は避けください。  
—直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。  
—窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。  
—風呂場など、湿気の多い所。  
—ほこりの多い所、砂地の上。  
—時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みデータや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）  
—平らな場所に設置してください。  
—設置条件によっては、倒れたり落したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。  
—持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

##### モニター画面に色むらが起きたら

サテライトスピーカーは防磁型（JEITA\*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起る場合があります。

##### 色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15 ~ 30 分後に再び電源を入れてください。

##### それでも色むらが残るときは

サテライトスピーカーをさらにモニターから離してください。

##### さらに

サテライトスピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。サテライトスピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

##### 磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

\* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

## ⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ず守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

### 定期的に点検する

1年に1度は、AC パワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまつていなか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



スラグをコンセントから抜く



### 下記の注意事項を守らないと

**火災・感電・発熱・発火**により  
**死亡や大けが**の原因となります。

### 指定以外の AC パワーアダプターを使わない

必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。  
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止



### 下記の注意事項を守らないと

**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止



### ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

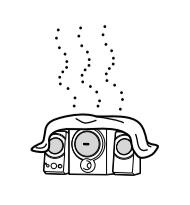


### 本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となります。



禁止



下記の注意事項を守らないと

**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えることがあります。

### はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、MD、CD、DAT やデジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

### 長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

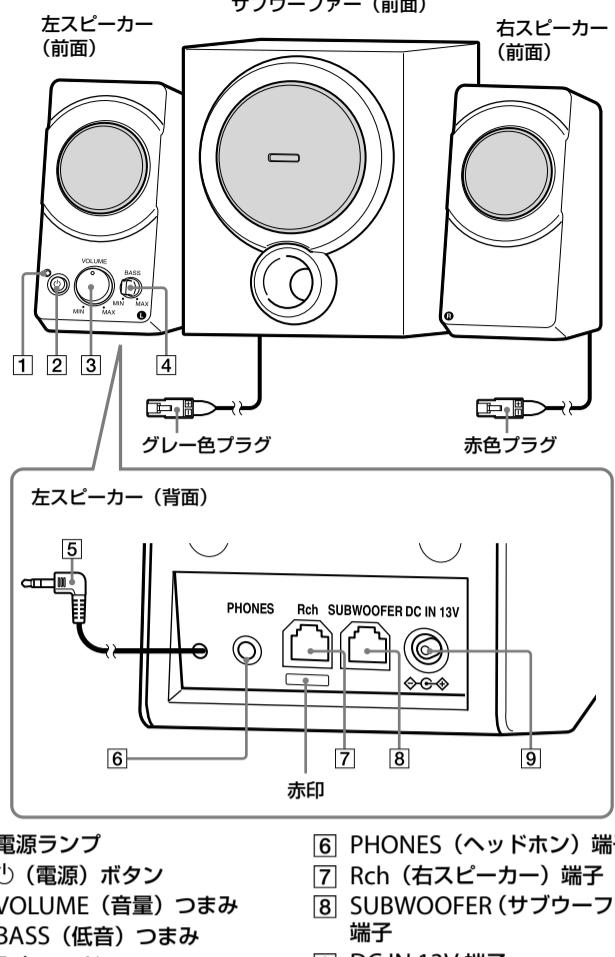
### お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターをコンセントに差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



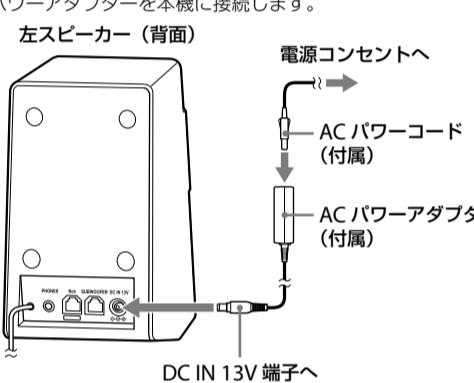
プラグをコンセントから抜く

## 各部のなまえ



## 電源について

付属の AC パワーアダプターを本機に接続します。



### ご注意

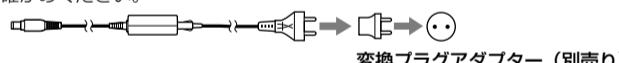
- AC パワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- 必ず付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 付属の AC パワーコードは、本機専用です。ほかの機器では、ご使用になれません。

### 海外で使うときは

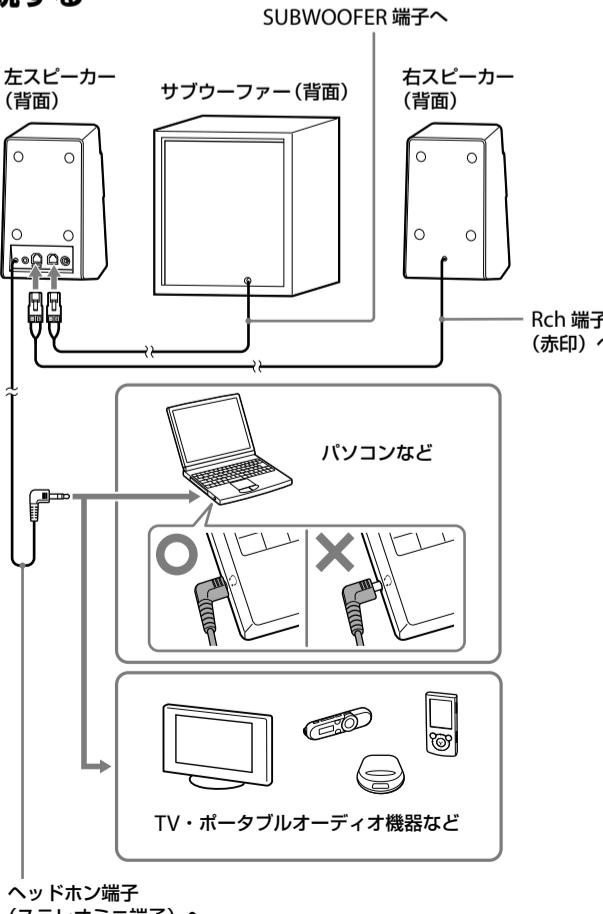
付属の AC パワーアダプターは、AC100～240V、50/60 Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。



### ご注意

海外旅行用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

## 接続する



ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、TV やラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。

- 右スピーカーの赤色プラグは、左スピーカー背面の赤印がある Rch 端子に接続する。サブウーファーのグレー色プラグは、左スピーカー背面の SUBWOOFER 端子に接続する。

- 本機をお聞きになる機器に接続する。

### 右スピーカーから音が出ないときは

モノラル端子に接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプター PC-236MS を使うと左右のスピーカーから音が出ます。

### 標準タイプのヘッドホン端子（カセットデッキなど）に接続するには

別売りのプラグアダプター PC-234S、または接続コード RK-G138 をお使いください。

#### ご注意

- お使いのパソコンにおける音量設定（マスター音量、WAV 音量など）が小さいと、十分な音量が得られない場合があります。その場合は、パソコン側の音量を大きくしてください。設定方法について詳しくは、お使いのパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 入力コードと接続する機器のヘッドホン端子は、しっかりと接続してください。
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、TV やラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 左スピーカーに右スピーカーとサブウーファーを間違えて接続しますと、サブウーファーから低音が出ない、右スピーカーの音がひびむなどの症状がでます。また、そのまま使いますと、故障の原因となりますので、接続にはご注意ください。
- パソコンや TV など、ヘッドホン端子に接続した本機の入力コードを、音声を再生したままはずしますと、パソコンや TV から思わず大きな音が出て、耳や機器を損傷する場合があります。入力コードをはずす際には、必ずパソコンなどの接続した機器の音量を下げ、本機の電源を OFF にしてください。
- お使いの TV の音量設定が小さいと、十分な音量が得られない場合があります。その場合は TV 側の音量を大きくしてください。設定方法について詳しくは、お使いの TV に付属の取扱説明書をご覧ください。

## 使いかた

突然大きな音が出て耳をいためないように、本機の VOLUME つまみでスピーカーの音量を最小にしてください。また、接続した機器の音量も下げておきます。

- Ⓐ ボタンを押して電源を入れる。

電源ランプが点灯します。

- 接続した機器を再生する。

- 音量を調節する。

VOLUME つまみ：全体の音量を調節します。

BASS つまみ：サブウーファーの低音を調節します。

- 使用後は Ⓛ ボタンを押して、電源を切る。

電源ランプが消灯します。

### 低音を調節するには

BASS つまみを回して低音の音量をお好みに応じて調節してください。本機の破損を防ぐため、音がひびまない音量でお使いください。

### ヘッドホンやイヤホンを使うときは

ヘッドホンやイヤホンを、PHONES 端子につないでください。

#### ご注意

- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザ機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひびむことがあります。
- ヘッドホン接続時には、BASS コントロールは無効になります。
- 本機はパソコン、ポータブル機器、または TV のヘッドホン端子への接続用に設計されていますが、接続する機器や、機器の音量設定、お使いのソフトウェアや音源によっては、本機の音量と低音を大きくしますと、音が途切れることができます。これは、本機の保護回路が働いているため、故障ではありません。その場合は、音量や低音を下げてお使いください。
- お使いの TV 放送で、音声多重放送の音声を、副音声または主／副に設定している場合、音声が出来されなかったり、片側のスピーカーから音声が出来られない場合があります。音声多重放送の設定を、主に切り替えてお使いください。音声多重放送の操作について詳しくは、お使いの TV に付属の取扱説明書をご覧ください。

## オートパワー機能の使いかた

### オートパワー機能について

- 本機能は、Ⓐ ボタンが ON の状態で作動します。
- 本機能は、接続した機器から音声信号が入力されたとき、電源が自動的に入ります。
- 本機能は、約 25 分 \* 以上入力信号がないと、電源が自動的に切れます。

\* 使用状況により変動することがあります。

#### ご注意

- 入力信号が小さいと、電源が自動的に入らない場合があります。
- 携帯電話など電波を発生する機器が近くにあると、電源が自動的に入る場合があります。
- 携帯電話などを接続していると、ノイズや着信音などにより電源が自動的に入る場合があります。携帯電話を接続するときは、Ⓐ ボタンで電源を入れなおしてお使いください。
- 接続する機器によっては、ノイズなどの影響により、電源が自動的に切れな場合があります。
- 何度も接続していないと、電源が自動的に切れな場合は、電源が自動的に入る場合があります。
- 入力信号によっては、入力信号の最初の部分が再生されない場合があります。
- お出で際は、誤動作防止のため、Ⓐ ボタンで電源を切ってください。
- 自動で電源が切れた場合、Ⓐ ボタンが ON の位置でも、電源ランプは消灯しています。音楽など、信号が再び入りされることにより、自動的に電源が入り、電源ランプは点灯します。また、音楽などの入力信号が無くても、Ⓐ ボタンを一度 OFF の位置に戻し、再度 ON の位置にすることで、電源を入れることができます。ただし、そのまま信号が入力されませんと、再び約 25 分後には自動的に電源は切れます。

## 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、ノイズが出る、または音が途切れ	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げます。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	入力コードがしっかりと接続されていない。	いったんはずして、本機の入力コードのステレオミニプラグ部を、接続する機器のヘッドホン端子（ステレオミニ端子）にしっかりと差し込み、接続します。
TV に近すぎる所に設置されている。	TV から離して設置する。	
低音が大きすぎる。	BASS つまみを回して低音の音量を調節する。	
Ⓐ ボタンが OFF になっている。	Ⓐ ボタンを ON にする。	
VOLUME つまみが最小に絞られている。	VOLUME つまみを調節する。	
入力コードがしっかりと接続されていない。	いったんはずして、本機の入力コードのステレオミニプラグ部を、接続する機器のヘッドホン端子（ステレオミニ端子）にしっかりと差し込み、接続します。	
入力信号が小さすぎる。	ヘッドホン端子に接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。	
お使いのパソコンの「ミュート」が設定されている。	ミュートを解除する。	
ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンをはずす。	
お使いのパソコンのバランス調節がセンター位置になっていない。	バランス調節をセンター位置にする。	
電源ランプがちらつく	音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがあります。	

## 主な仕様

### スピーカー部

サテライトスピーカー	フルレンジ、防磁型 (JEITA*)
型式	直径 60 mm
使用スピーカー	密閉型
エンクロージャー方式	8 Ω
インピーダンス	
サブウーファー	サブウーファー
型式	直徑 115 mm
使用スピーカー	バスレフ型
エンクロージャー方式	3.6 Ω
インピーダンス	

### アンプ部

実用最大出力	10 W + 10 W (全高調波歪 10 %, 1 kHz, 8 Ω) (サテライトスピーカー)
入力	20 W (20 W + 20 W) (サブウーファー)
入力インピーダンス	20 W (サテライトスピーカー)

### 電源部・その他

電源	DC 13 V (付属の AC パワーアダプターを接続して AC 100 ~ 240 V 電源から使用)
最大外形寸法	約 109 × 203 × 135 mm (サテライトスピーカー)
質量	約 193 × 243 × 233 mm (サブウーファー) (幅×高さ×奥行き)
付属品	約 680 g (左サテライトスピーカー)
	約 610 g (右サテライトスピーカー)

付属品	約 2,450 g (サブウーファー)
	AC パワーアダプター (1)
	AC パワーコード ** (1)
	取扱説明書 (1)
	保証書 (1)

別売りアクセサリー	プラグアダプター
	PC-234S (ステレオ標準プラグ ↔ ステレオミニ端子)、PC-236MS (ミニプラグ ↔ ステレオミニ端子)

接続コード	RK-G138 (ステレオ 2 ウェイプラグ ↔ ステレオミニ端子)
-------	------------------------------------

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

\* JEITA は（電子情報技術産業協会）の略称です。

\*\* 付属の AC パワーコードは、本機専用です。ほかの機器では、ご使用になれません。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記